MS3657U80FYS6ユーザケーブル
取り扱い説明書

株式会社　日立超LSIシステムズ

第3版

MS3657U80FYS6M-A

はじめに

本マニュアルはH8/3657シリーズ用ユーザケーブルMS3657U80FYS6を御使用頂く前に準備する内容、使用方法について説明を行っています。ユーザケーブルを正しくご使用して頂くために必ず本取り扱い説明書をお読みください。内容、表示等に不明点等ございましたら、末尾に示します技術サポートセンタ、または東京営業所までご連絡下さい。

第3版　2001.05

1.本資料に記載された製品は、信頼性、機能、設計の改良により予告なく変更することがあります。
2.本資料に記載された情報は、正確かつ信頼し得るものであります。ただし、これら記載された情報、製品または回路の使用に起因する損害または特許権その他権利の侵害に関しては、
(株)日立超LSIシステムズは一切その責任を負いません。
3.本資料によって第三者または(株)日立超LSIシステムズの特許権その他権利の実施権を許諾するものではありません。
4.本資料の一部または全部を当社に無断で転載または複製することを堅くお断りいたします。
5.本資料に掲載されている製品外観が見かけ上若干変更する場合がありますので御承知おきください。

目　次

１．構成品　　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 4

２．ソケット構成品　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 5

３．PCB製作上の注意　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 6

４．ユーザケーブル接続方法　　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 8

５．実チップ取付け方法　　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 10

1. 構成品

図１にMS3657U80FYS6ユーザケーブルの構成品を示します。
全ての構成品が揃っていることを確認ください。

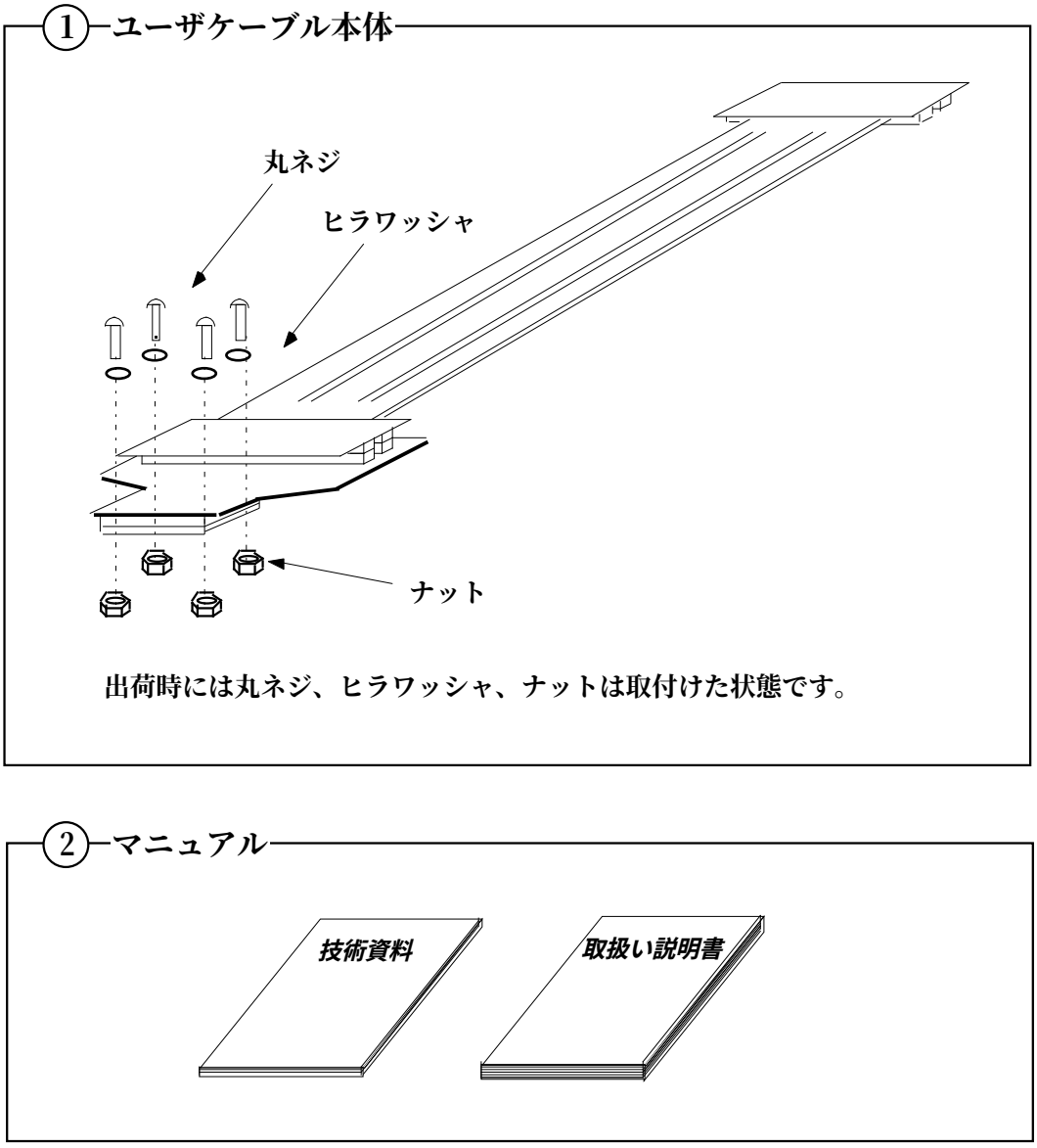


図１　MS3657U80FYS6ユーザケーブル構成品

２．ソケット構成品

図２にMS3657U80FYS6ユーザケーブルと組み合わせて使用するソケット（MS080FTQFP3HS）構成品を示します。
ネジ、ワッシャ、IC取付け用カバーは実チップを搭載する際に使用します。
接続にはユーザケーブル側に添付されるネジを使用してください。
なお、ソケットについては別売品となっておりますのでご注意ください。

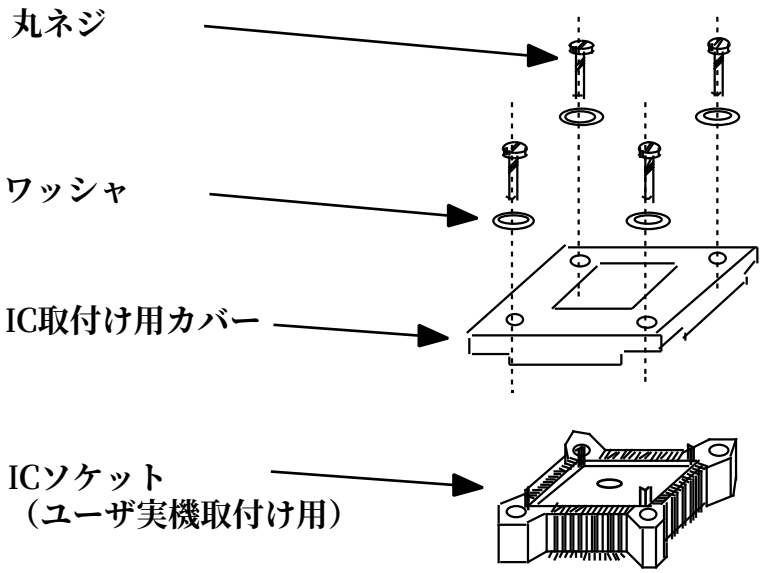


図２　MS080FTQFP3HSソケット構成品

3．PCB製作上の注意

図３にプリント板フットパタン寸法図を、図４にユーザケーブル外形寸法図を示します。
PCB製作時にご参考ください。基板製作時の注意点を以下に示します。

(a) QFPの1ピン位置にご注意ください。

(b) PCB製作前には本取扱説明書に添付される技術情報（発行# : 970404）を読み、ソケット、ユーザケーブルに関する情報を確認してください。

(c) ソケットおよびユーザケーブル実装時のことを考慮し、実装エリアを確保してください。スペースのないところで無理にユーザケーブル、ソケットを実装、接続をしますと、ハンダ付け部および接続部に負荷がかかりハンダクラック、接続不良の原因になります。

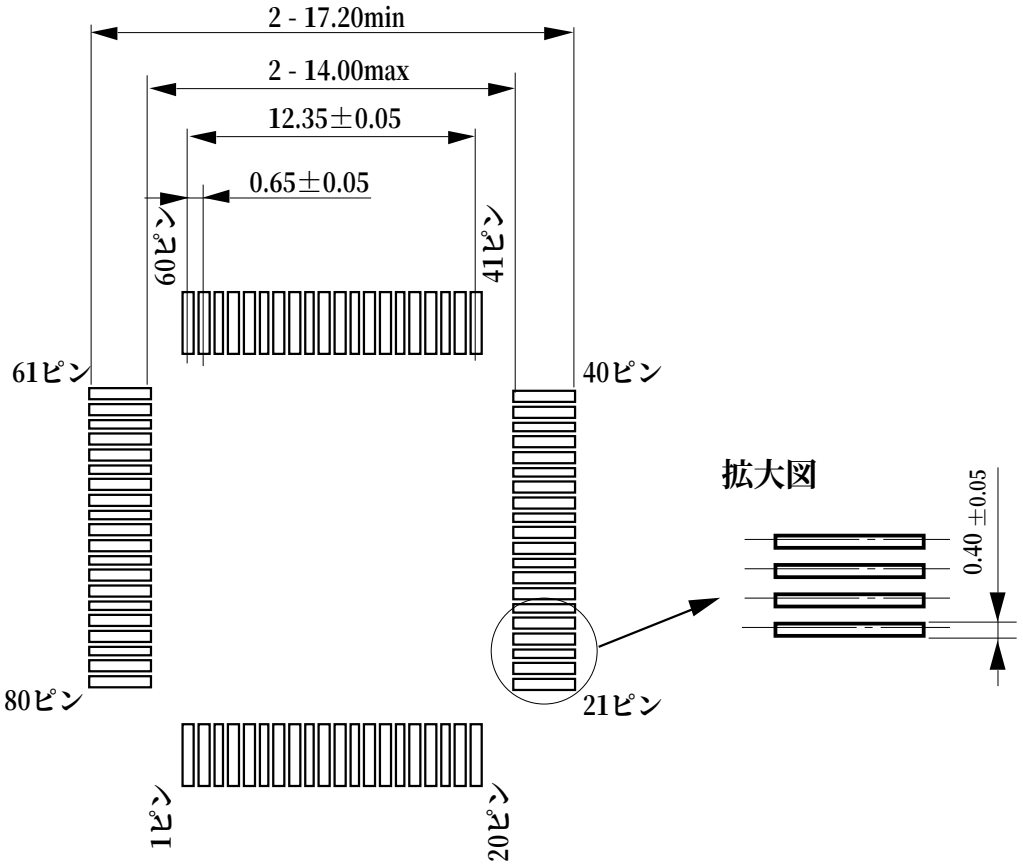


図３　PCBフットパタン寸法図

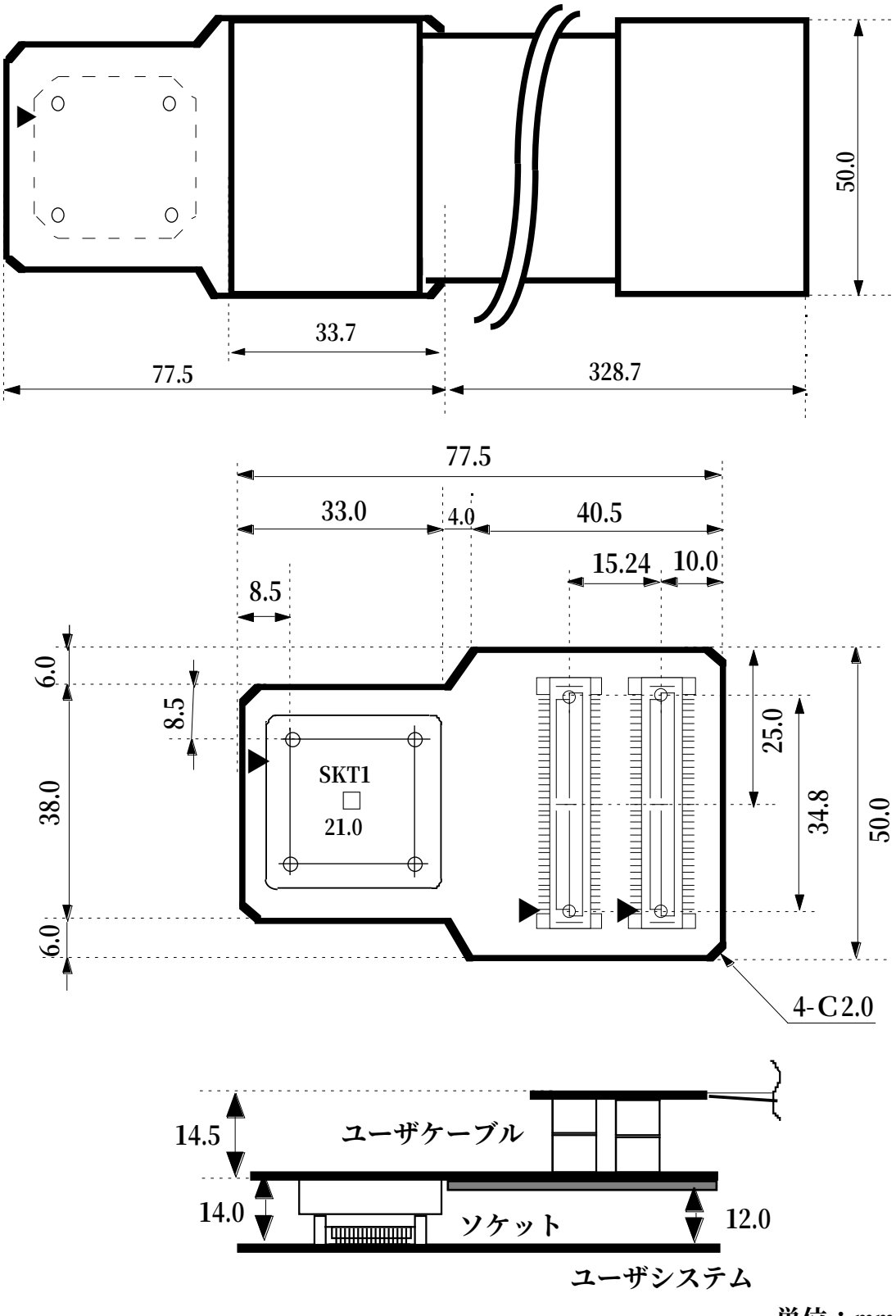


図４　ユーザケーブル外形寸法図

４.ユーザケーブル接続方法

図５にMY-ICEとユーザケーブルの接続図を示す。図を参照し接続を行って下さい。
なお、ユーザケーブルを接続するコネクタは精密部品ですので取り扱いには十分ご注意ください。
以下に接続時の注意事項をまとめます。
(1)MY-ICEとユーザケーブルの型名が適合するものであるか確認してください。
(2)MY-ICE、ユーザシステムの電源はOFFにしてください。
(3)US1,US2の誤接続がないよう注意してください。
　コネクタは水平に差し込み、完全に押し込んでください。
　斜めに差し込んだり差し込みが半端のままだと接触不良、故障の原因になります。
(4)保護基板につきましてはユーザ評価システムの無い場合のデバッグで使用します。
　無くさないよう注意ください。またデバッグ終了後にはもとの状態に挿入ください。

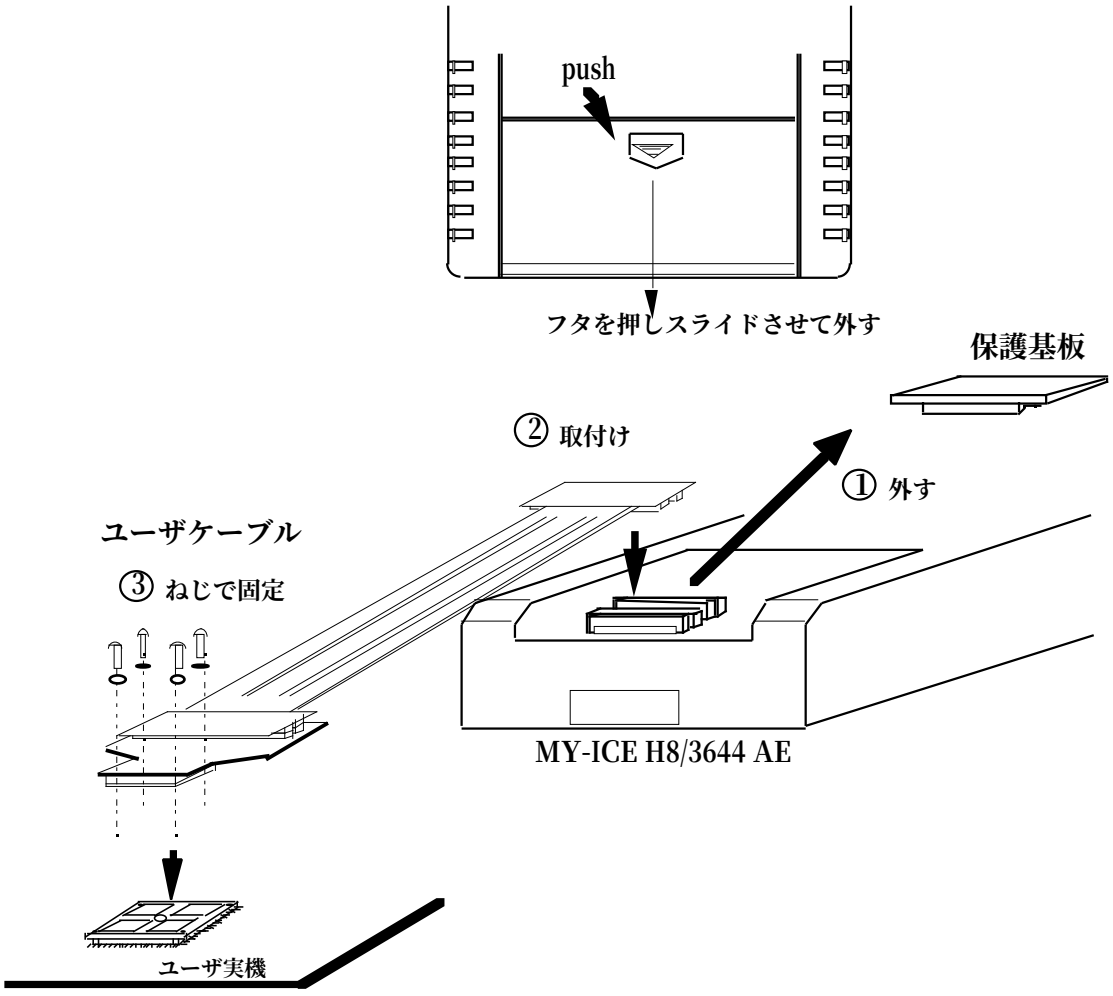
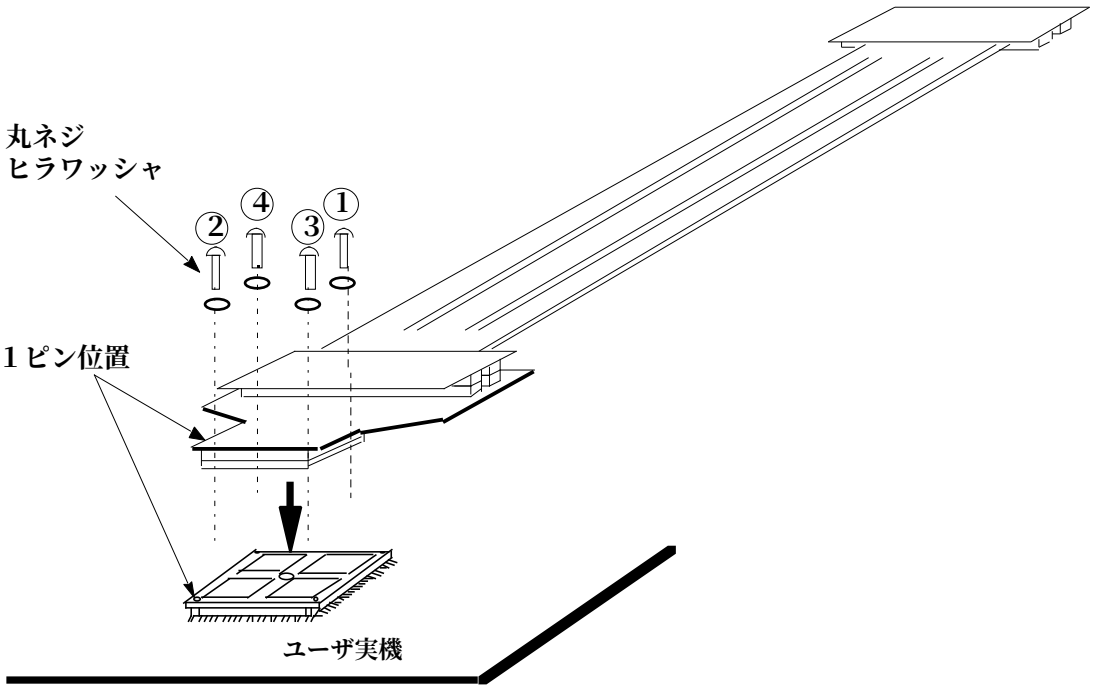


図５　ユーザケーブル―MY-ICE接続方法

（注意）ユーザ実機の無い場合のデバッグは保護基板を取り付けた状態で使用ください。
　保護基板を取り付けずに使用すると故障の原因になります。

図６にユーザケーブル（PCB部）とユーザ実機上のソケットの接続方法を示します。
ユーザケーブルとソケットはアダプタの四隅をネジ止めすることにより固定します。接続時は以下の点にご注意ください。
(1)ソケットとユーザケーブルの型名が適合するものであるか確認してください。
(2)MY-ICE、ユーザシステムの電源はOFFにしてください。
(3)QFP1ピン位置を合わせて接続してください。
(4)ネジ止めは図に示す順序を繰り返し除々に締めつけてください（4角の締めつけが均等になるようにしてください）。



ユーザケーブルをソケットにかん合し、ネジにて固定します。

図６　ソケットへのユーザケーブル取付け方法

5.実チップ取付け方法

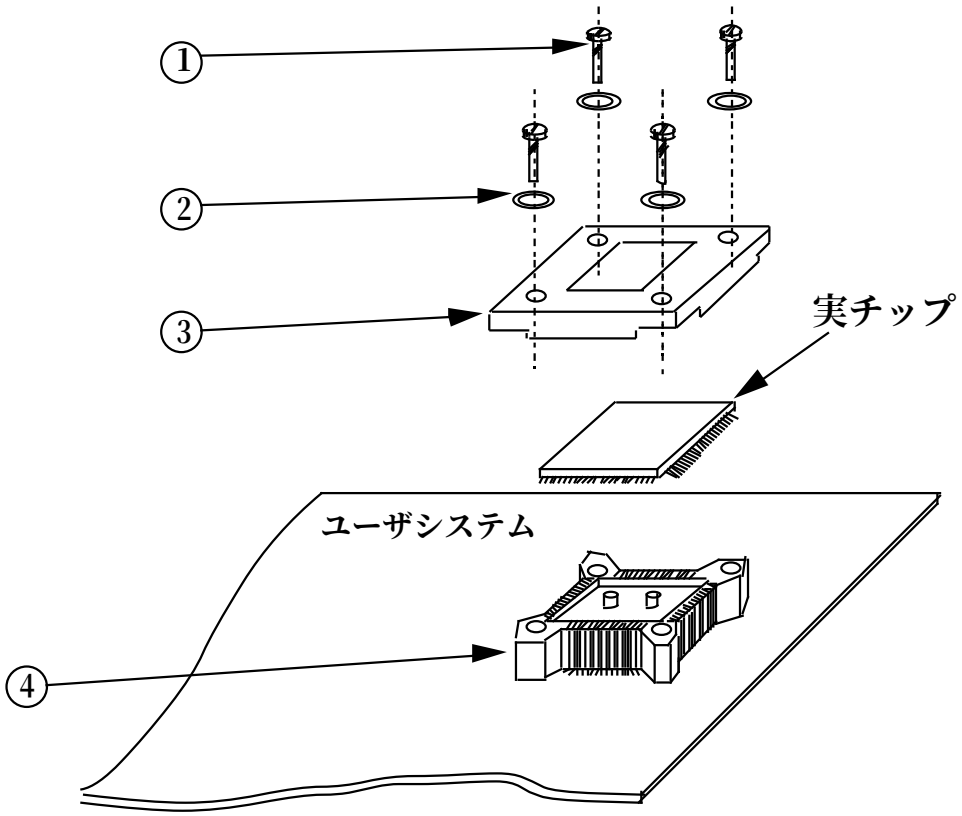
図7に実チップの取付け方法を示します。下図を参照し、実チップの取付けを行って下さい。

(1)実チップと適合するソケットであることを確認ください。

(2)ユーザシステムの電源はOFFにして取付けください。

(3)QFP1ピン位置を合わせて接続してください。

(4)ネジ止めは図に示す順序を繰り返し除々に締めつけてください（4角の締めつけが均等になるようにしてください）。



① 丸ネジ
② ヒラワッシャ
③ IC取付け用カバー
④ ICソケット（ユーザ実機取付け用）

（注）使用する丸ネジはソケットに添付のものをご使用下さい。

図7　実チップ取付け方法

MS3657U80FYS6ユーザケーブル取り扱い説明書

発行年月　平成13年5月　第3版
発　　行　株式会社 日立超LSIシステムズ

© 株式会社 日立超LSIシステムズ　2001

株式会社 日立超LSIシステムズ

本　社
〒187-8522　東京都小平市上水本町5－22－1　　TEL 042(326)1111（代表）

技術サポートセンタ（設計直通）
〒187-8522　東京都小平市上水本町5－22－1　　TEL 042(326)3047
FAX 042(326)1970

顧客サービスセンタ
〒187-8522　東京都小平市上水本町5－22－1　　TEL 042(326)1968
FAX 042(326)1948

東京営業所
〒185-0014　東京都国分寺市東恋ケ窪3-1-1　　TEL 042(359)2210
FAX 042(359)2213
（受付時間：10：00～11：30、13：00～17：00）